

公立大学法人島根県立大学の平成21年度に係る業務実績に関する評価のポイント

(1) 特に顕著な成果が見られた事項…「評点5」の項目

事 項	概 要
①新たな大学構想の策定 (No.1)	従来3キャンパスがそれぞれ歴史的に蓄積してきた成果を継承し、21世紀における新たな飛翔をめざす大学の姿勢を内外に示すため「大学憲章」を策定
②学生・教職員の健康管理 (No.136)	新型インフルエンザ対策本部を設置、重症者の発生や蔓延を防止
③教職員の個人評価制度 (No.149)	教員個人評価実施要領を改正し、H22年度から本格実施
④教職員の人事・給与制度 (No.150)	H22年度からの教員個人評価にあたり、評価上位者の教員に対し、一定額を期末手当に加算する制度の創設
⑤競争資金の獲得 (No.156)	大学教育改革支援プログラムに新規に2件採択、合計8件のプログラムが進行
⑥学生や県民等への情報発信 (No.174)	H21.6から毎月1回「学長定例記者会見」を実施
⑦卒業生データの同窓会運営への活用 (No.175)	同窓会活動により、卒業生と在学生のつながりが生まれ、就職活動におけるOB訪問等において成果が現れた。

(2) 平成20年度の「今後の取組みが期待される事項」の取組状況
 評点3以下（意図した実績が達成されなかった事項）

今後の取組みが期待される事項<H20>	取組状況
①地域貢献について、今後は、県民が十分認知できるよう、情報発信を充実させ、県民からの理解が深まることを期待する。(No.134)	学長定例記者会見によるマスコミ報道やケーブルTVとの連携など、適切に情報発信された。 【H21評点4】
②寄附金の受入れについて、体制整備や広報面等、戦略的取組を期待する。(No.160)	寄付金受入れ手続き（規定）のホームページ掲載や教員個人研究資金を大学収入（寄附金）として受け入れる制度を創設した。〔寄附金額266万円（H20：50万円）〕 【H21評点4】
③大学における知的活動の成果について、知的財産権管理ルールを早急に検討のうえ整備する必要がある。(No.162)	知的財産の管理に関するルールを定めるための検討を行った。 【H21評点4】
④エコ・オフィス活動について、情報通信機器の活用等によるペーパーレス化を推進のうえ、コピー使用量を縮減し、推進されたい。(No.165)	エコキャンパス実行計画の改定、冬季光熱水費のピークカット（効果：93千円／月）に取り組んだ。 【H21評点：法人4、事務局3】
⑤卒業生による健康づくり・食育関連組織（仮称）の設立検討について、卒業生の意識啓発に努め、一層の連携が深まることを期待する。(No.175)	組織設立を呼びかけたが、卒業生等のリーダーとなる人材確保が困難であり、組織の設立を見送らざるを得なかった。 【H21評点：法人4、事務局3】
⑥県民モニター制度を検討のうえ、ホームページ上で県民からの提案を募集できる仕組みづくりに期待する。(No.176)	島根県が行っている「しまねWebモニター意向調査」を活用するとともに、出雲キャンパス周辺地区において、モニター制度を開始した。 【H21評点4】

(3) 平成21年度実績に係る今後の取組が期待される事項

評点3以下の項目

項 目	概 要
①帰国留学生の情報収集(No.175)	大学の広報活動を展開する上で、同窓会や後援会組織との連携を強化することは重要である。今後は、会報等の内容を帰国留学生にふさわしいものとされるなどして、ネットワーク化を促進されたい。

(4) 法人自己評価を変更した項目とその理由

①大学院両研究科を統合再編 (No.1) 【評価5→4】	大学院の両研究科を統合再編する計画は、昨年度時点で既に達成されており、21年度評価では特に顕著な成果とは言えないのではないかと。
②アドミッションセンター (No.131) 【評価5→4】	入学定員充足率100%を達成し、一般選抜試験での高い志願倍率(8.2倍)を確保されたことは大きな成果と言えるが、一方で入試に係る出題ミスがあり、全体評価として特に顕著な成果とは言えないのではないかと。
③エコ・オフィス活動 (No.165) 【評価4→3】	「エコキャンパス実行計画」を改定するとともに、冬季光熱水費のピークカットに取り組まれたことは評価できるが、コピー用紙や上水道使用量は増加しており、エコ・オフィス活動を強化し、コピー用紙や上水道使用量の縮減を図っていく必要があるのではないかと。
④卒業生による健康づくり・食育関連組織(仮称)の設立検討 (No.175) 【評価4→3】	地域の食育を推進することについて、卒業生の協力を得ようとする取組は評価できるが、組織設立を見送らざるを得なくなった理由を整理した上で、実情に沿った取組となるよう検討する必要があるのではないかと。
⑤危機管理体制の整備 (No.180) 【評価5→4】	新型インフルエンザや県立大学生死体遺棄事件発生において、学生の安全安心確保のための緊急対応や相談体制の整備など高く評価できる。しかし、全体評価として特に顕著な成果とは言えないのではないかと。

(5) 全体評価

＜中期目標各項目別の状況＞…年度計画各項目を5段階で評定し、その平均値で評価

※中期目標…県が公立大学法人島根県立大学に対して6年間（H19～H24）に達成すべきものとして指示した目標

中期目標の大項目	評点平均値				評 定
	大学		事務局		
①新たな大学構想の確立と実現に向けた取組	5.00	AA	4.50	AA	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
②自主的、自律的な組織・運営体制の確立	4.12	A	4.07	A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる。
③評価制度の構築及び情報公開の推進	4.07	A	4.07	A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる。
④その他業務運営に関する重要項目	4.10	A	4.00	A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる。

昨年の評価で「今後の取組が期待される事項」として記した事項は概ね取組まれていた。
法人化3年度の平成21年度の業務運営は、「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」と評価する。

(6) 大学の教育研究等の質の向上に対する評価の概要

大学の3つの基本的な目標（①学ぶ意欲を大切にし、高めていく大学、②地域に根ざし、地域に貢献する大学、③北東アジアの知的共同体の拠点として世界と地域をつなぐ大学）に照らして評価

■特筆すべき点（注目される点）

	計画の進捗状況及び成果
学ぶ意欲を大切にし、高めていく大学	<p>◆大学院におけるリカレント教育を促進するため、長期履修学生制度の運用を開始し、2名の有職社会人学生が制度の適用を受けている。なお、本学生が授業を受けやすいよう1年を通して7限目に授業を実施した。(No.8)</p> <p>◆松江キャンパス健康栄養学科では栄養士に必要な実践力を育成するため、健康づくりや食育推進事業への参加なども行ってきたが、平成21年度は松江で開催された食育推進全国大会への参加、企画と実施を体験した。(No.37)</p> <p>◆松江キャンパス保育学科では専門科目「児童文化」の成果の発表の機会として保育学科生全員による「ほいくまつり」に取り組んでいるが、平成21年度は観客数約1,200人の参加を得て開催し、その成果は後の学びの意欲や保育実習等に大きく反映された。(No.43)</p> <p>◆大学院教務委員会より推薦のあった大学院生2名について、NEARセンター准研究員として任命し、教員あるいは研究員による指導を開始した。またこの2名が取り組む研究を「競争的課題研究助成プログラム」として採択し、研究資金の助成を行った。(No.55)</p> <p>◆市民研究員に関わる事業である「市民研究員との共同研究助成事業」を2件採択し、大学院生及び市民研究員の知識拡大・研究促進に成果があった。(No.58)</p>

	<p>◆学生の修学意欲の向上を図るための成績優秀者奨学金制度について、各キャンパスとも人数を拡充して表彰を実施した。(No.74)</p>
地域に根ざし、地域に貢献する大学	<p>◆北東アジア地域学術交流研究助成事業（旧NEAR財団寄付金事業）、外部資金（JST事業や浜田市との共同研究事業、県関係機関からの委託研究）及び学長裁量費を利用した、島根県や島根県の地域社会が抱える地域振興、中山間地域に関する研究等、課題解決に向けた研究プロジェクトを募り、平成21年度に5件実施するとともに、平成22年度において前年を上回る研究プロジェクトの実施（13件）に結びつけることができた。(No.93)</p> <p>◆松江キャンパスの公開講座「椿の道アカデミー」には、95回の11講座に2,925名の参加があった。このうち7講座はまつえ市民大学との連携講座であり、松江市との協定の成果が示された。また、出雲キャンパスにおいては、公開講座を12講座（21回：参加者数273名）実施し、出雲市内のみでなく、中山間地域や隠岐での公開講座を積極的に実施した。(No.110)</p> <p>◆松江キャンパス及び出雲キャンパスと共同で実施した短期大学部文科省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」については、3キャンパスの地域連携推進センターを拠点に、島根県健康福祉部・各種職能団体等と連携して専門職教育講座を開講し（受講者数：延べ2,326名（平成19年度～21年度実績）、1,038名の修了者を輩出した。(No.111)</p> <p>◆平成21年10月に、包括的な連携協力協定を締結した出雲市と「介護予防教室事業（上岡田地区）」を受託して実施したほか、今後、出雲市と大学が連携協力して各種事業を展開することとなった。(No.114)</p> <p>◆浜田キャンパスにおいては、浜田市からの委託を受けて「中学校学習支援事業」及び「共同研究」を実施した。また次年度の受託研究に関する調整を行い、平成22年度共同研究として3件を受託することとなった。(No.114)</p> <p>◆松江キャンパスにおいては、平成19年度に締結した松江市との連携協力協定に基づき、「生涯学習での連携協力」、「松江市主催文化教育行事への教員協力」、「松江市主催行事への学生ボランティア参加協力」、「松江市立女子高等学校との連携」、「正課授業における連携協力」の各連携事業を実施した。(No.114)</p>
北東アジアの知的共同体の拠点として世界と地域をつなぐ大学	<p>◆北東アジア地域の総合的研究について、今年度は6回の定例研究会を実施し、学内教員間の学術コミュニケーション活性化を図ることができた。3月には学外の研究者を招きワーク・ショップを開催し、宇野重昭本研究会顧問による基調講演、各研究者による報告などを実施した。(No.99)</p> <p>◆日韓・日朝交流史研究会は、今年度は4回実施し、朝鮮半島地域研究の立場から、北東アジア地域の総合的研究を進めた。海外の研究者4名、国内の研究者4名を招へいし、学術的な交流を図った。韓国の研究者と連携して定例研究会の枠内で2回のミニシンポジウムを開催（うち1回は韓国・啓明大学校で実施）した。また、国外（韓国）での定例研究開会開催は初めてであったが、センター研究員のみならず市民研究員1名の参加があった。(No.99)</p> <p>◆NEARセンターにおいては、「日韓・日朝交流史研究会」が韓国の、林裕明プロジェクトがロシアの大学研究機関との共同研究を実施した。また、北東アジア地域学術交流研究事業（共同研究プロジェクト）では、今年度採択した林裕明プロジェクトと唐燕霞プロジェクトにおいて、いずれも学外研究者を加えて共同研究を実施した。(No.102)</p> <p>◆NEARセンター研究員を中心としてロシア海洋国立大学との間で共同研究を開始し、2年計画の1年目を実施した。また、3月9日には本学から4名の教員が訪問シンポジウムを開催するなど、学術研究交流を進めた。(No.119)</p> <p>◆ロシア海洋国立大学と覚書の締結に向けた事務的な協議を重ねると同時に、NEARセンター研究員を中心とした学術交流（副学長らと交流に係る意見交換実施）</p>

	<p>、異文化理解研修での本学学生の訪問、帆船の浜田港入港時における学生交流、ITを活用した両学学生による英語教育の実践等、締結に先立って具体的な交流が進展した。(No.120)</p> <p>◆北東アジア地域研究センターを中心として、毎年、海外交流大学と国際共同シンポジウムが開催され、平成21年度においては、中国社会科学院日本研究所及び、北京大学国際関係学院とそれぞれ合同国際シンポジウムが開催された。(No.121)</p>
--	---

■ 昨年の指摘事項について

項 目	取組状況
地域貢献について、地域の活性化に資する活動に一層取り組まれることを期待する。	大学憲章を策定し、地域貢献に関する項目が5つの柱の1つとされた。また、公開講座実施による県民への学習機会の提供や県内教育機関との連携（高大連携）など、地域貢献については十分な取組が認められた。
大学の魅力を積極的にアピールし、より地域に愛され、必要とされる大学を目指されたい。	3キャンパスの情報を法人本部で一元的に取りまとめ、様々なメディアを通して、より効果的にPRができるよう平成21年6月から毎月1回「学長定例記者会見」を行うこととされた。この定例記者会見によりマスコミ報道で多くの話題が取り上げられた。
FDについて、アンケート回収率の向上と、具体的な改善行動（アクション）に結びつけるための取組を期待する。	学生への調査方法を見直し、回収率が高くなった。また、学外でのFD研修会への参加やFD研修会を開催するなど取組の強化が認められた。

■ 遅れている点（課題がある点）

項 目	概 要
○高大連携に係る提携可能な項目のメニュー化 (No.7)	高大連携を推進していく上での、提携可能な項目のメニュー化等の内容充実には至らなかった。
○リメディアル教育（補習教育）に係る進級制度の基本設計 (No.16)	ディプロマポリシー（学位（単位）授与認定方針）やカリキュラムポリシーの策定作業が遅れたため、進級制度の基本設計が行えなかった。
○教員の研究内容や成果の公表 (No.95)	教員個々の研究内容や成果をホームページへの掲載や、ReaD（独立行政法人科学技術振興機構（JST）が運営するデータベースサイト）への登録を推進されているが、あまり進んでいない。